

市民の皆様へ

～草津栗東守山野洲歯科医師会からのお願い～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大がピークを越えたかに見えますが、皆様は不安な日々をお過ごしのことと存じます。

「歯科医師・スタッフにとって感染リスクが高い」とされる歯科医療現場で働いている私たちに、皆様方から逆に励ましのお言葉を頂戴することもあり、大変恐縮する次第です。

さて、皆様もご承知の通り、4月中旬に地域の歯科医院スタッフに感染者が出ました。皆様には不安とご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前から、ウイルス感染対策(肝炎・エイズ等)やエアロゾル対策など、患者様同士、あるいは私たちから患者様への感染防止対策を行っておりますことから、幸い現在のところ、**我が国では歯科治療を通じて歯科医師やスタッフから患者様への感染事例の報告はございません。**この地域で起こった感染拡大もスタッフ間(スタッフルームでの会話を伴う食事)で起こったと考えられており、**患者様への感染拡大は全くなかったことを関係当局より確認しております。**しかしながら、これに甘んじることなく、更なる感染防止対策は徹底してまいります。

さて、**皆様は無理して歯科診療を控えておられないでしょうか？**

定期的メンテナンスを先延ばしにされていないでしょうか？

- 「歯や歯ぐきの痛み」はストレスとなり、仕事や学業に支障を来たします。また、食事が摂れなくなることは、体力・免疫力の低下につながります。
- 計画診療の先延ばしは歯の寿命を縮め、口腔機能の回復を遅らせます。
- 定期的なメンテナンス間隔の拡大は口腔機能維持を阻害します。
- 人工透析中の方や糖尿病などの持病をお持ちの方は、歯周病の悪化が全身症状の悪化につながる可能性が高くなります。
- 口の中の不衛生、つまり口腔内細菌により細菌性の肺炎のリスクが上がり、新型コロナウイルス性肺炎に罹患した際に重症化しやすいことが報告されています。
- 要介護者の口腔内環境の悪化は、誤嚥性肺炎のリスクを確実に高めます。

診療の継続・延期、メンテナンスの継続・延期など、ご自身での判断をなさらず、ぜひ、**かかりつけ歯科医**にご相談ください。なお、来院することが困難な場合は、電話等により診療を行い、お薬を処方することなども可能です。

現在、歯科医療の現場は、消毒液やマスクなどの医療資材不足や、新型コロナウイルス感染症に関する新しい知見を踏まえた、より高度な感染防止策を講じるため、一時的に診療内容の制限や休診などを行わざるを得ない状況にもあります。

ご不便をおかけする場面もあるかも知れませんが、皆様に安全・安心な歯科医療体制を提供するために今後も精一杯努力していく所存でございます。

診療所においても、また、介護の現場においても、新型コロナウイルスに感染をしない、させないための感染防止対策をしっかりと講じた上で、「**皆様の生活を支える歯科医療・定期的メンテナンス**」「**要介護者の命を守るための口腔ケア**」を行ってまいりますので、ご理解を賜りたく存じます。

2020年5月14日

一般社団法人草津栗東守山野洲歯科医師会